



石巻港復興だより第18号

(石巻港湾ひばりの通信41号)
— 港湾は人の心も結んでいます —

平成27年度全建賞受賞

■「女川湾口防波堤災害復旧事業」が平成27年度全建賞を受賞しました

平成28年6月28日（火）、東京都千代田区において一般社団法人全日本建設技術協会による平成27年度表彰式が行われ、「女川湾口防波堤災害復旧事業」が栄えある全建賞を受賞しました。

秋田県及び富山県から派遣いただいた職員の皆さんの協力のもと、完成した事業が受賞したことは、所として喜ばしいことであり、ご尽力いただいた皆さんに改めて感謝申し上げます。



・受賞理由と事業概要

復旧にあたっては水理模型実験等により復旧断面の検証を行い、経済性を考慮した工法（捨石マウンドに被覆ブロック15t型を水深-2.5mまで部分連結構造とし、ケーソン堤は、根固めブロック2段積み構造とした。）を取り入れたほか、開口部潜堤の天端高を変更することで、防潮堤計画高を抑え、女川町の復興まちづくりに寄与した点が高く評価され、表彰されることとなりました。

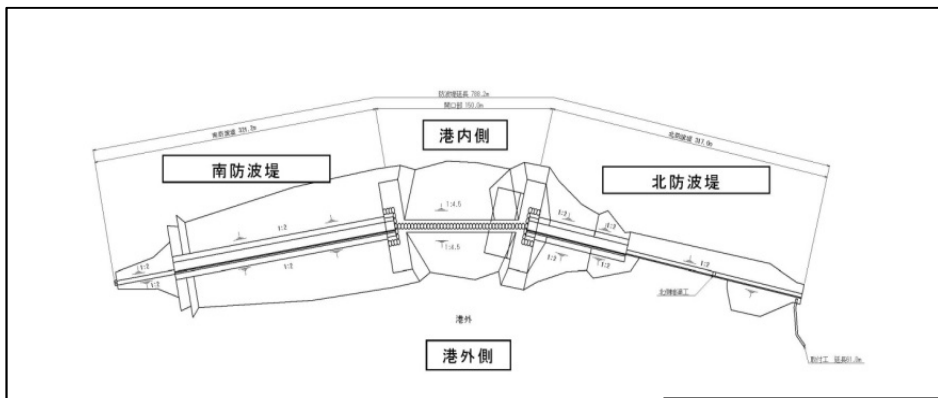


図 1-3-1 施設平面図・正面図（原形）

歴代監督員	
高橋	一登（宮城県）
大島	慎也（秋田県）
菊地	憲裕（ 〃 ）
佐藤	三紀（ 〃 ）
中林	亮（富山県）
田近	智慧（ 〃 ）
（敬称略）	

事業名称：女川湾口防波堤災害復旧事業
 実施機関：宮城県港湾課
 // 石巻港湾事務所
 // 漁港復興推進室
 // 東部地方振興事務所水産漁港部
 事業期間：平成23年6月～平成28年3月
 事業費：全体事業費 約8,155百万円
 ・北防波堤（港湾施設）約3,895百万円
 ・南防波堤（漁港施設）約4,260百万円



旅客船「ぱしふいっくびいなす」入港

■大型客船「ぱしふいっくびいなす」が入港しました

平成28年4月1日（金），大型客船「ぱしふいっくびいなす」（総トン数26,594 t 全長183.4m）が，石巻港（大手埠頭）に入港しました。天候に恵まれた当日は，入港セレモニーとして桜坂高校吹奏楽部による生演奏や伊達武将隊による演舞披露が行われたほか，石巻港大型客船誘致協議会による歓迎式典が開催されました。また，会場イベントとして，



缶バッチの作成やかき汁の無料提供のブースが設けられ，長蛇の列ができました。石巻市のイメージキャラクター「いしびよん」を始めとした地元の人気ゆるきゃらも登場し，会場を大いに盛り上げました。その後「ぱしふいっくびいなす」はペンライトを手にしたたくさんの人々から盛大に見送られ，海面に花火がきらめく中，出航しました。

■今後の大型船舶の寄港予定

8月19日（金）の独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）の地球深部探査船「ちきゅう」並びに東北海洋生態系調査研究船「新青丸」の2隻の寄港に合わせて，8月21日（日）に港湾感謝祭の開催が予定されています。詳しくは，石巻市のホームページをご覧ください。



地球深部探査船「ちきゅう」
人類史上初めてマントルや巨大地震発生域への大深度掘削を可能にする世界初のライザー式科学掘削船。
ライザー式とは，掘削した海底の泥水を循環することにより坑内の環境をコントロールしながら掘削を行う掘削方式。



東北海洋生態系調査研究船「新青丸」
水平方向に360度回転するポッドにプロペラを装備したもの2基に自動船位保持装置を装備し，多種多様な観測機器と可搬式研究設備を採用。東北沿岸・近海域においても効率的かつ効果的に海洋環境観測，海底地形調査，海洋気象観測などの総合的な調査観測を行う船舶。

平成28年度 総合防災訓練を実施

■総合防災訓練を実施しました

平成28年6月10日（金）、昭和54年に制定された「県民防災の日」（6月12日）に合わせて、当事務所においても総合防災訓練を実施しました。

この訓練は、土木部BCPに基づき、宮城県沖地震（連動型）が発生した場合の初動対応を確認し、現状の課題を抽出して、今後の危機管理体制のあり方を検証することを目的としたものです。

訓練は、「宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0の地震が発生し、県内全域で震度6弱が観測され、津波注意報が発表された。」という想定のもと、シナリオブラインド型ロールプレイング方式で行いました。

訓練の成果を活かし、今後とも災害時の対応力向上を図り、安全な港の維持管理に努めてまいります。

BCP：Business Continuity Planの略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたものです。

シナリオブラインド型ロールプレイング方式訓練

- ・シナリオブラインド型：プレイヤーへ事前にシナリオを知らせない形式



・様々なシナリオに基づく被災情報などをコントローラーからプレイヤーへ連絡。

・プレイヤーは被災情報などに対し、課題解決への対応を行う。また、逐次記録と情報共有を欠かさないように対処します。

津波避難ビル（石巻港湾合同庁舎）での避難訓練



津波避難ビルのマーク



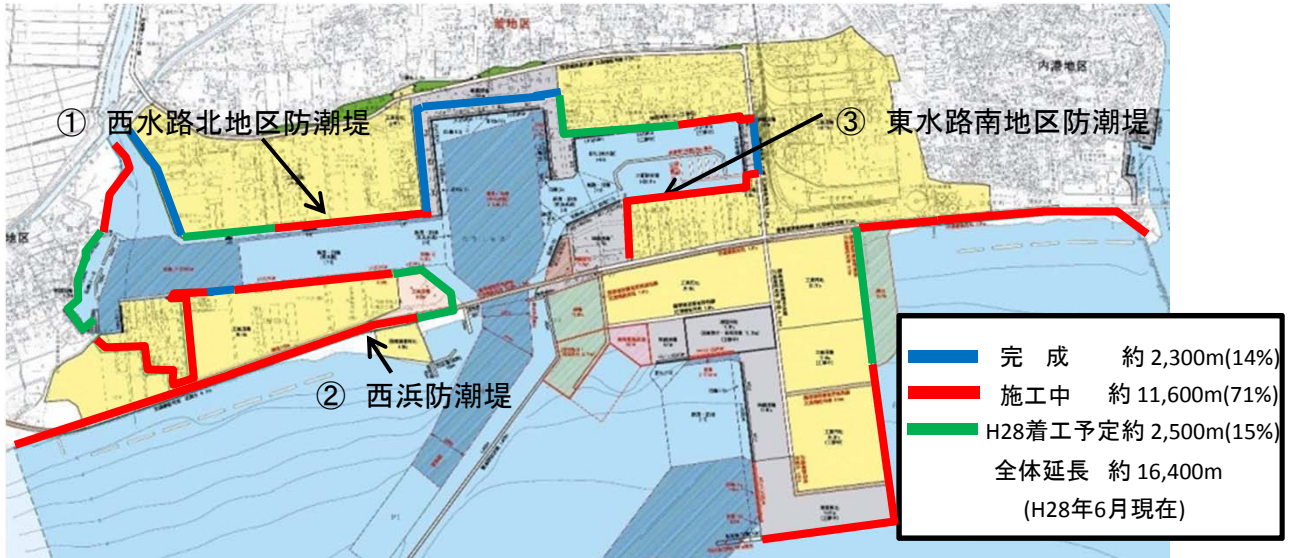
非常階段による屋上への避難の様子

石巻港 復旧・復興工事(防潮堤)の状況

石巻港内の防潮堤工事は、昨年度の着手以来、順調に進捗しております。

今後も、施工現場の安全確保を図りながら、石巻港内の復旧・復興を加速させていきます。

■石巻港区平面図

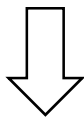


石巻港区の防潮堤工事のうち、平成28年度中に完成見込み箇所の進捗状況は次のとおりです。

①西水路北地区防潮堤



(施工前)

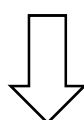


(進捗率86%)

②西浜防潮堤



(施工前)

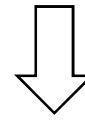


(進捗率72%)

③東水路南地区防潮堤



(施工前)



(進捗率71%)

地方港の復旧状況

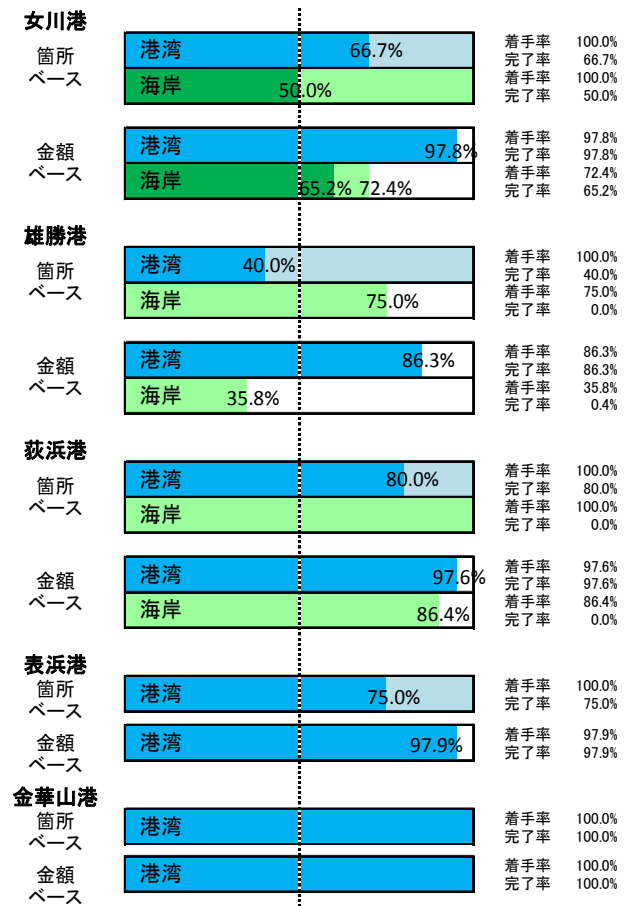
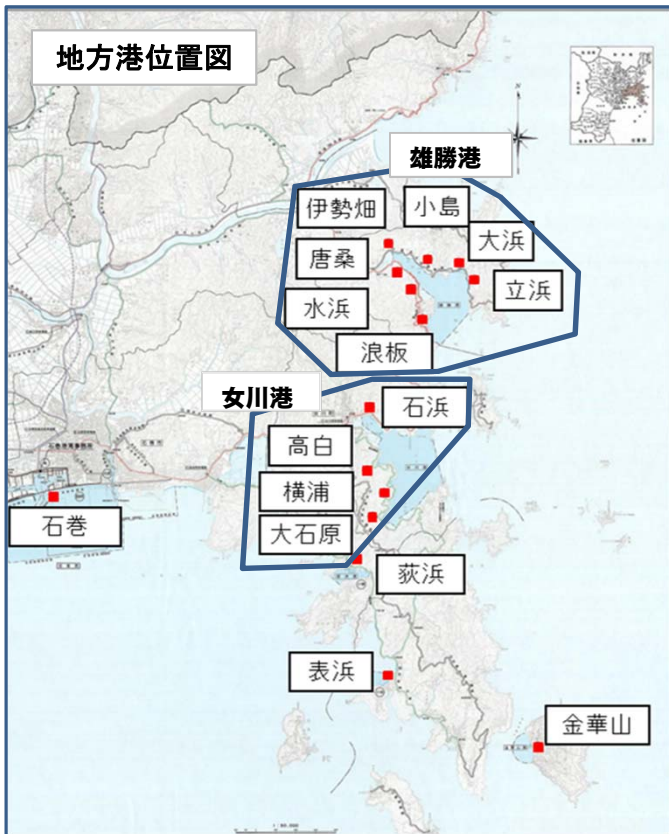
平成28年6月現在の地方港の復旧状況は、次のとおりです。

港湾施設に関しては平成27年度に全て完成しています。海岸施設に関しては、防潮堤及び水門・閘門が未了ですが、計画とおりの順調な進捗となっています。

災害復旧(地方港)

(平成28年6月現在)

港名	区分	件数	査定額(億円)		着手額(億円)		着手率		完了額(億円)		完了率	
			件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費
女川港	港湾	(10)	9	23.2	9	22.7	100.0%	97.8%	6	22.7	66.7%	97.8%
	海岸	(6)	6	57.7	6	41.8	100.0%	72.4%	3	37.6	50.0%	65.2%
	計	(16)	15	80.9	15	64.5	100.0%	79.7%	9	60.3	60.0%	74.5%
雄勝港	港湾	(10)	10	19.7	10	17.0	100.0%	86.3%	4	17.0	40.0%	86.3%
	海岸	(8)	8	133.6	6	47.8	75.0%	35.8%	0	0.5	0.0%	0.4%
	計	(18)	18	153.3	16	64.8	88.9%	42.3%	4	17.5	22.2%	11.4%
荻浜港	港湾	(5)	5	8.2	5	8.0	100.0%	97.6%	4	8.0	80.0%	97.6%
	海岸	(2)	2	11.0	2	9.5	100.0%	86.4%	0	0.0	0.0%	0.0%
	計	(7)	7	19.2	7	17.5	100.0%	91.1%	4	8.0	57.1%	41.7%
表浜港	港湾	(4)	4	9.4	4	9.2	100.0%	97.9%	3	9.2	75.0%	97.9%
	海岸	0	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-
	計	(4)	4	9.4	4	9.2	100.0%	97.9%	3	9.2	75.0%	97.9%
金華山港	港湾	(4)	4	12.2	4	12.2	100.0%	100.0%	4	12.2	100.0%	100.0%
	海岸	0	0	-	0	-	-	-	0	-	-	-
	計	(4)	4	12.2	4	12.2	100.0%	100.0%	4	12.2	100.0%	100.0%
合計	港湾	(33)	32	72.7	32	69.1	100.0%	95.0%	21	69.1	65.6%	95.0%
	海岸	(16)	16	202.3	14	99.1	87.5%	49.0%	3	38.1	18.8%	18.8%
	計	(49)	48	275.0	46	168.2	95.8%	61.2%	24	107.2	50.0%	39.0%



地方港の施工状況

平成28年6月末現在の復旧状況は次のとおりです。

●横浦地区



(施工前)

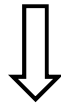


(現況)

●大石原地区



(施工前)



(現況)

●荻浜地区



(施工前)



(現況)

●小積地区



(施工前)



(現況)

●雄勝港小島



(施工前)



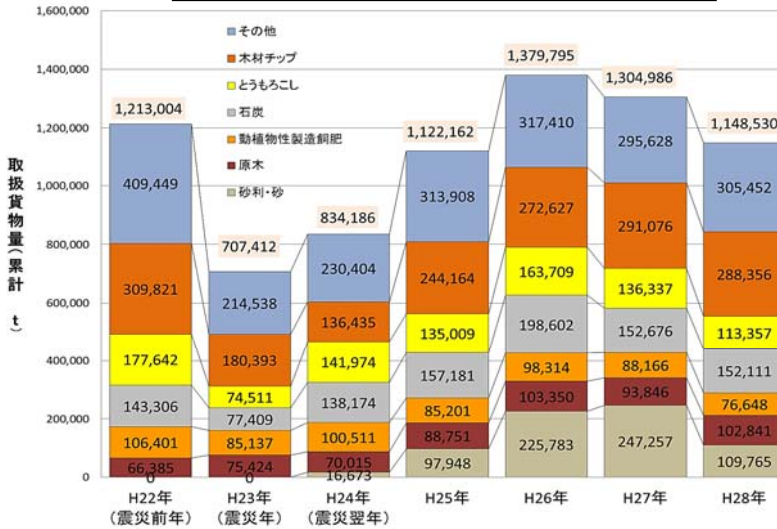
(現況)

石巻港の貨物量の推移

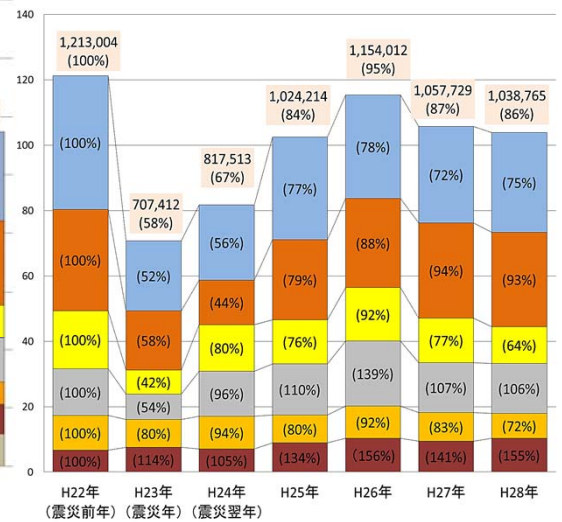
■ 1～4月累計比較 H22比約8割 H27年と比べてもやや減少傾向

震災後、復興用資材等として砂・砂利等の取扱量が増えたことから、純粋な比較をするために、砂・砂利等を除いたものを右図に示してあります。前年と比べ全体的に取扱量が減少していますが、原木は安定して増加しております。

1～4月貨物取扱量累計年比較
(内港含む ただしフェリー貨物分は除く)



左記グラフより砂・砂利等除く
※()内は2010年(H22)比



石巻港 工業用地分譲中

■ 工業用地は、現在3地区4区画にて分譲中です



□大曲地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-1	68,676.56	工業専用地域	分譲中
□西浜地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
M-2	85,615.53	工業専用地域	分譲中
□雲雀野地区			
区画	面積(m ²)	用途地域	備考
D-1	約 83,000		造成中
D-2	約 73,000		造成中
D-3	約 131,000		造成中
F-3	44,277.80	工業専用地域	分譲中
F-7	41,583.68	工業専用地域	分譲中

宮城県の優遇制度	
○みやぎ企業立地奨励金	
○宮城県工業立地推進金融融資制度	
○原子力発電施設等周辺地域企業立地支援事業補助金	
○民間投資促進特区の優遇制度 等	

石巻市の優遇制度	東松島市の優遇制度
○企業立地助成金	○企業立地促進奨励金
○上水道料金助成金	○工業用地確保補助金
○緑化推進助成金 等	○環境整備促進補助金

※この他にも優遇制度がありますので、下記に問い合わせ下さい。

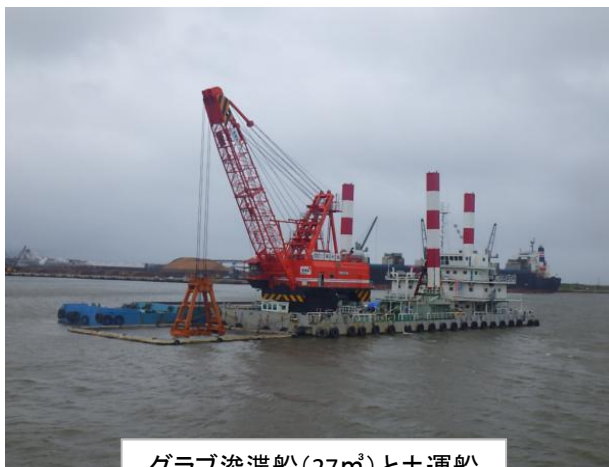
問い合わせ先	
宮城県経済商工観光部 産業立地推進課	TEL 022-211-2732
石巻市産業部産業推進課	TEL 0225-95-1111
東松島市産業部商工観光課	TEL 0225-82-1111

浚渫工事の現場見学会を開催

■浚渫工事の現場見学会を開催しました

平成28年6月16日（木）、石巻港湾事務所が釜地区で行っている航路・泊地（-11.0m）外浚渫工事の現場を学ぼうと、職員向けの研修会を開催しました。

始めに、監督員から浚渫工事の概要説明を受けました。その後、砕岩船兼グラブ浚渫船（第76西村号）に乗り込み、施工業者から施設や作業手順などの説明を受け、実際の浚渫作業の現場を見学しました。



グラブ浚渫船(27m³)と土運船

浚渫された土砂は、一旦、土運船に移されます。一定の土量が溜まると、雲雀野地区まで曳航され、バックホウを使い空気圧送船に移されます。この時、浚渫土に混じったコンガラや鉄くずなどは選別されます。その後、土砂は空気圧送船に接続された圧送タンクに送られ、パイプラインを通り、埋立ポイントまで圧送され、埋立用地に活用されます。



浚渫グラブ



スパッド



土運船のプール



空気圧送船

浚渫（しゅんせつ）

港湾・河川・運河などの底面を浚（さら）って土砂などを取り去る土木工事のこと。



土砂パイプライン終点(雲雀野埋立地区)

編集後記

女川の湾口防波堤が全建賞を受賞しました。これを一つの励みとし、今後の復旧・復興事業に邁進して参ります。

また、毎年恒例の総合防災訓練では今年度の新たなメンバーでBCP訓練を行いました。災害対応は備えあれば憂いなしです。日頃から問題点を意識し、よりの確な対応ができるよう改善を心掛けて参ります。

編集事務局

宮城県石巻港湾事務所

〒986-0845 石巻市中島町17-2

電話:0225-95-6271

FAX:0225-95-6273

E-MAIL:iskown@pref.miyagi.jp

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/is-kouwan/>